

平成31年3月28日

平成31年3月定例教育委員会会議 自由討議資料
テーマ「教育に関するタウンミーティングのあり方について」

市長とドンドン語ろう&タウンミーティング(平成30年度)

平成30年度は、市長とドンドン語ろうとタイアップして必由館高校で開催



10月16日に「市長とドンドン語ろう!&タウンミーティングwith高校生」を開催し、必由館高校の生徒とまちづくりや教育の未来について語り合いました。

海外留学事業の拡大について

現在、市立高校2校でアメリカ・サンアントニオ市への留学交流が行われています。国際交流への意識が向上していると思いますが留学できる人数に限りがありますので、他に交流できる国を増やすなどの取り組みはできますか。



サンアントニオ市と熊本市は姉妹都市で、交流することで地域文化などいろいろなことが参考になると考えています。本市には他にも姉妹都市・交流都市がありますので、希望があれば要望していただきたいと思います。海外に行っているいろいろな経験をするのは良いことですので、できるだけ皆さんの希望が叶えられるようにしたいと思います。

放課後に受けられる講座について

パソコン講座やダンス講座など学校の部活動では対応していないようなことを、放課後の時間を使って手軽に参加できる取り組みはありませんか。



市内各地にある公民館でさまざまな講座を開催していますので、ぜひ利用してほしいと思います。また、インターネットを活用し、世界中のいろいろな講座を受けることができますので、そのようなものを利用するのも良いと思います。

市長の原動力について

市長として働く上での原動力はどんなことですか。



熊本市をどの都市よりも素晴らしい都市にしていきたいという強い郷土愛や、多くの皆さんと対話し協力しながら問題を解決することで、市民の方々が住みやすくなったと感じていただくことなどが原動力になっています。また、皆さんから感謝の言葉や厳しい意見などをいただくことで、やり甲斐にも繋がっています。市長として市を引っ張っていくという強い使命感を持ち、若い人からお年寄りの方まで楽しく生活できるようなまちづくりを進めていきたいと思っています。

※やりとりは一部を抜粋したものです。 ※内容は10月16日時点のものです。



タウンミーティング（平成24年度～平成29年度）

平成24年度から開始し、各区の公民館所管校区を単位として開催

回	年度	実施日	行政区	会場	参加者数
1	H24	8月10日	東区	託麻公民館ホール	73人
2		11月19日	北区	北区役所会議室	39人
3		2月7日	南区	富含公民館ホール	41人
4	H25	4月26日	西区	西部公民館ホール	41人
5		8月8日	中央区	大江公民館ホール	42人
6		10月28日	東区	東部公民館ホール	50人
7		1月27日	北区	龍田公民館ホール	38人
8		2月14日	南区	幸田公民館ホール	48人
9	H26	5月23日	西区	花園公民館ホール	65人
10		10月22日	中央区	中央公民館ホール	30人
11		11月19日	東区	秋津公民館ホール	29人
12		1月20日	北区	清水公民館ホール	31人
13		3月17日	西区	飽田公民館ホール	12人
14	H27	5月22日	北区	北部公民館会議室	22人
15		10月27日	西区	河内公民館多目的ホール	26人
16		11月11日	南区	城南公民館学習室	25人
17		1月22日	南区	南部公民館大ホール	46人
18	H28	2月12日	東区	託麻公民館ホール	47人
19		2月8日	南区	天明公民館ホール	33人
20	H29	8月23日	東区	秋津公民館大ホール	39人
21		10月18日	南区	城南公民館学習室	29人
22		11月15日	北区	龍田公民館学習室	52人
23		1月31日	中央区	五福公民館大ホール	28人
24		2月6日	西区	西部公民館大ホール	46人

スクールミーティング（平成24年度～平成28年度）

平成24年度に開始し、学校単位で実施し、PTA役員、学校評議員及び校長・教頭が参加した。平成25年度からは、対象者を変更し、中学校区単位での教職員による実施とした。

回	年度	実施日	行政区	会場	対象校	参加者数
1	H24	7月4日	西区	池田小	池田小	12人
2		11月26日	東区	西原中	西原中	9人
3		1月18日	南区	日吉東小	日吉東小	12人
4	H25	7月24日	中央区	江原中	江原中、本荘小、春竹小	21人
5		8月7日	北区	武蔵中	武蔵中、武蔵小、弓削小	19人
6		11月14日	南区	田迎西小	託麻中、御幸小、田迎小、田迎南小、田迎西小	17人
7		1月21日	西区	三和中	三和中、高橋小、池上小、城山小	18人
8		2月18日	東区	東野中	東野中、秋津小、泉ヶ丘小、若葉小	18人
9	H26	11月13日	北区	五霊中	五霊中、植木小、山本小、山東小	12人
10		1月16日	中央区	白川中	白川中、白川小、大江小、白山小	14人
11		2月2日	南区	力合西小	力合中、力合小、力合西小	14人
12	H27	11月2日	西区	井芹中	井芹中、花園小、池田小	14人
13		2月1日	東区	錦ヶ丘中	錦ヶ丘中、尾ノ上小、月出小、山ノ内小	14人
14	H28	1月26日	北区	龍田西小	龍田中、龍田小、龍田西小	11人

平成31年度 広聴事業について（案1）

熊本市立学校の教職員と教育長及び教育委員が、直接対話による意見交換を行うことで、教職員からの要望、提案を熊本市教育施策の参考とさせていただき、より学校現場の実情に沿った政策立案の一助とする

項目	内容
回数	年5回
時間	90分程度
対象者	<u>熊本市立学校の教職員</u> <ul style="list-style-type: none">・参加は自由とする（動員はしない）・どこの会場へも参加可とする・発言は昇任等に影響しない
開催条件	教育長 + 教育委員3名以上
テーマ	熊本市の教育についてのフリートークを主とする

メリット

- ・ターゲットを教職員とし、テーマをフリートークとすることで、様々な意見が出る
- ・学校改革！時間創造プログラムの取組内容についても、教職員から率直な意見が出る
- ・学校からの動員依頼も必要なく、学校の負担軽減にもつながる
- ・動員を行わないことにより、意見がある積極的な教職員のみ

の参加になる

デメリット・懸念事項

- ・フリートークとすることで議論が深まらない場合もある
- ・特定の参加者や個別の案件に発言が偏ってしまい、参加者全員が発言の機会を得ることが難しい
- ・テーマが幅広いため、何についても意見が出せる反面、議論は深まりにくい
- ・動員は行わないため、参加者が少ない場合もある

平成31年度 広聴事業について（案2）

熊本市立中学校の中学校と教育長及び教育委員が、直接対話による意見交換を行うことで、子ども目線の要望、提案を熊本市教育施策の参考とさせていただき、より生徒・学校現場の実情に沿った政策立案の一助とする

項目	内容
回数	年5回（5校）
時間	60分程度
対象者	熊本市立中学校の生徒
開催条件	教育長 + 教育委員3名以上
テーマ	設定を検討

メリット

- ・中学生目線の要望等を直接聞くことができる
- ・テーマを、例えば「ここがヘンだよ〇〇中」等、生徒が学校に対し、日頃疑問に思っている点について意見を交わすことで、改善する点を模索することができる
- ・グループに分かれて、各グループに教育長または教育委員が参加しディスカッションを実施すると意見交換ができる

デメリット・懸念事項

- ・教育に関係ない質問等をする可能性がある
- ・意見や質問が出ない可能性がある
- ・開催校において、準備等の負担が大きい

平成31年度 広聴事業について（案3）

市内にある教員養成課程のある大学と教育長及び教育委員が、直接対話による意見交換を行うことで、学生からの要望、提案を熊本市教育施策の参考とさせていただき、政策立案の一助とする

項目	内容
回数	年3回程度
時間	90分程度
対象者	会場となる大学に在籍する学生（教員養成課程に在籍する学生中心）
開催条件	教育長 + 教育委員3名以上
テーマ	設定を検討

メリット

- ・若い世代の教育に関する意見を聴取することができる
- ・ターゲットを教員を目指す学生とすることで、本市の教員採用試験の受験者数増加につなげる
- ・学校からの動員依頼も必要なく、学校の負担軽減につながる

デメリット・懸念事項

- ・大学の協力が必要不可欠であるため、本事業の理解を得る必要がある
- ・動員をしないため、参加者が少ない場合がある
- ・本市の教員採用試験受験者数増加も「ねらい」の一つとした場合、願書締切である6月上旬までに開催する必要があり、スケジュール確保が難しい
- ・教員採用試験受験予定者を対象とするため、質問内容が採用試験に関するものとなる可能性がある